



Ministério das Relações Exteriores
Departamento de Promoção Comercial



駐日ブラジル大使館
EMBAIXADA DO BRASIL EM TÓQUIO

〒107-8633 東京都港区北青山 2-11-12
Tel: 03 (3404) 5211 (代表) Fax: 03 (3405) 5846 (代表)
www.brasemb.or.jp

THE WORLD HERITAGE OF BRAZIL | 世界遺産の旅 |



Designed by
+3 PLUS
THOUGHT &
CREATIVES



ブラジル基本情報

- 正式国名
- 首都
- 人口
- 国土面積
- 公用語
- 宗教
- 通貨
- 日本との時差

ブラジル連邦共和国

ブラジリア

約1億8千8百万人

850万km² (日本の22倍)

ポルトガル語

主にカトリック教

レアル(R\$)

ー12時間=ブラジリア、サン・パウロ、リオ・デ・ジャネイロ、オウロ・プレット、レシフェ、

ポルト・アレグレ、フォス・ド・イグアスなど

ー13時間=マナウス、ボア・ヴィスタ、クイアバなど

ー14時間=リオ・ブランコ

主に亜熱帯

リオ・デ・ジャネイロ、サン・パウロ 110-220V／60Hz、

マナウス 127V／60Hz、レシフェ、ブラジリア 220V／60Hz

目的にかかわらずビザが必要。観光目的の場合は滞在許可日数は90日間。残存有効期間6ヶ月以上のパスポート、写真、往復航空券(予約確認証)、貯金残高証明書、住民票を用意して在日ブラジル総領事館へ申請する(変更する場合もあります)

成田または名古屋からサン・パウロへ日本航空(JAL)直行便で所要約23～24時間

(ニューヨークで約1時間のトランジット)

1月1日 元旦

2月or3月 カーニバル

3月or4月 聖金曜日(イースター直前の金曜日)、イースター

4月21日 チラデンテス記念日(ブラジル独立運動の志士)

5月1日 メーデー

6月 聖体祭(イースターから60日)

9月7日 独立記念日

10月12日 聖母マリア・アパレシダ祭

11月2日 精霊祭

11月15日 共和制宣言記念日

12月25日 クリスマス



- 気候
- 電圧

- ビザ

- 日本からのアクセス

- 祝祭日

<問い合わせ先>

- 駐日ブラジル大使館
通商部
〒107-8633 東京都港区北青山2-11-12
Tel:03(3405)6838 Fax:03(3746)0756
<http://www.brasemb.or.jp>
- ブラジル観光省
ブラジル観光公社
<http://www.turismo.gov.br>
<http://www.braziltour.com>
<http://www.braziltour.com/heritage/html/jp/home.php>
- メルコスール観光局
<http://www.mercosur.jp>

<ビザ申し込み>

- 在東京ブラジル総領事館 <http://www.consbrasil.org>
- 在名古屋ブラジル総領事館 <http://www.consuladonagoya.org>

青空の下に広がる 近代デザイン都市ブラジリア



▲ブラジリア

Brasilia Convention & Bureau/ Marcio Cabral

▼三権広場

Christian Knepper



都市計画家ルシオ・コスタと建築家オスカー・ニーマイヤーによって創設された数々の美しい建築物と都市の独創的な特徴が評価され、共和国の新しい首都ブラジリアは、1987年12月、近代的な都市としては初めて、ユネスコより世界文化遺産に登録されました。

1960年に完成したブラジリアは、まさに青空の下に広がる近代芸術作品です。パイロット・プランに代表されるブラジリア都市計画は、現在では近代都市計画のモデルとされています。建造物、居住、群居、田園の4つの要素が合わさった、ユニークな都市構造を形成しています。加えて、ブルーノ・ジョルジ、アルフレッド・チェスキアッティ、アトス・ブルカオンやブルレ・マルクスなどの芸術家たちが、首都に美しい芸術作品を残しました。幾何学的な構図を持つブラジリアのパイロット・プ

MAP01



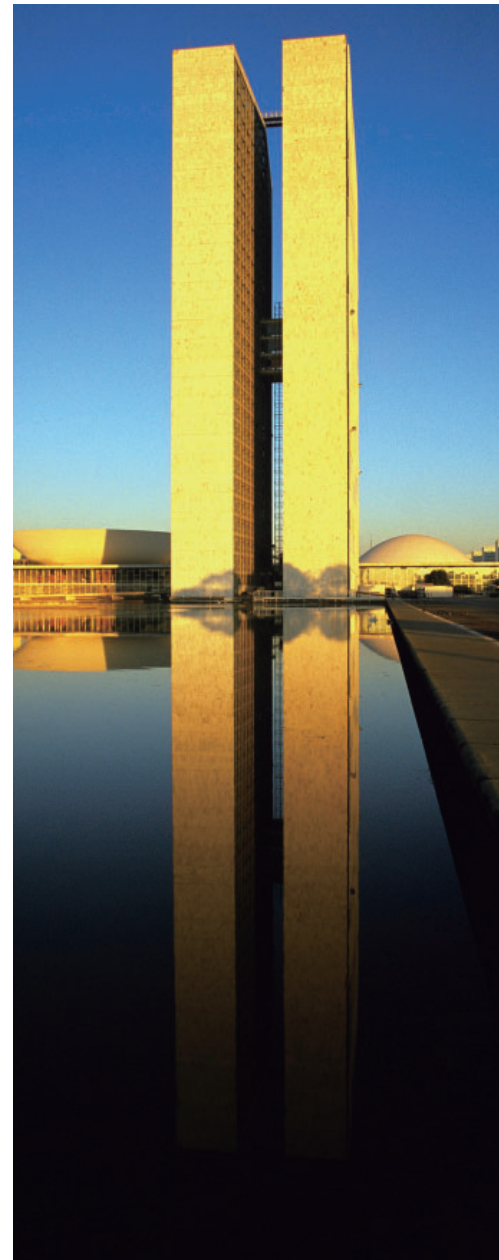
▲カテドラル(内観)

D.D.WAVE



▲ブラジル外務省

D.D.WAVE



▲国会議事堂

Christian Knepper

ランは50年代の国際的な都市計画案を実現したものであり、1933年に世界中の近代建築家たちが提唱したアテネ憲章の理念を具現化したものです。偉大な事業であるブラジリア建設実現は、ブラジルの歴史に足跡を残しただけでなく、国の発展と国民の自信につながりました。

パイロット・プラン

1957年に大統領ジュセリノ・クビチェックが、共和国の新首都ブラジリアの都市計画を民間から募集し、ルシオ・コスタの設計案が選ばれました。パイロット・プランの画図は、人が場所や所有物に印をつける原始的な作業から得たものだと言われています。都市ブラジリアは、縦の直線と横の弓型直線が十字架の形で交わる2つの線形の面で構成され、上空から眺めると羽を広げた鳥のよう

な形になっています。ブラジリアの主要建築物は、モニュメンタル大通りに沿って並んでいます。長距離バスターミナルから、大通りを東へ進むと大聖堂カテドラル・メトロポリターナ、各省庁、外務省（イタマラチー宮殿）があり、そこからなお先へ進むと行政機関（ブラナルト宮殿）、立法機関（国会議事堂）、司法機関（連邦最高裁判所）の本部がある三権広場に着きます。三権広場から延びる道路をそのまま進むと、パラノア湖^{※1}沿いにある大統領邸、建物の柱が都市のシンボルともなっている、アルヴォアラダ官邸に着きます。長距離バスターミナルの北側のすぐ近くには、ブラジリア最大の国立劇場、クラウジオ・サントーロがあります。オスカー・ニーマイヤーによって設計され、造形芸術家アトス・ブルカオンの木版画が劇場の外壁を飾っています。南側には同じくオスカー・ニーマイ

ヤー設計の、美術館と図書館が併合された共和国文化総合施設があります。長距離バスターミナルからモニュメンタル大通りに沿って西に進むとテレビ塔があり、その先には連邦政府の政庁があるブリチ広場があります。

※1.パラノア人工湖：一年を通して降水量が少なく、非常に乾燥したこの地域の天候調節のために作られた人工の湖。

豊かな文化建築遺産を 有する高原都市ゴイアス

MAP02



▲18世紀にタイムスリップしたかのような街並み

Rui Faquini



▲ボア・モルチ教会

Rui Faquini

ゴイアス州旧州都ゴイアス市にあるゴイアス歴史地区は、豊かな文化建築遺産を有することから、2001年12月16日、ユネスコより世界文化遺産として登録されました。18世紀にタイムスリップしたかのような気分を味わえるゴイアス歴史地区には、多様な形の石でできた石畳と、昔ながらの都市構造が残っています。コロニアル様式とエクレティック様式の見事な調和がこの街の特徴です。ブラジル植民地時代、主要文化中心地から離れた場所にあったため、その建築技術は公共・私財建築物共に、非常に質実剛健です。これらの特徴からゴイアスの教会や建物、古くからの石材が残る石畳は、ブラジル地方建築術の見本となっています。

中でも、一番の見どころは教会群です。ボア・モルチ教会（1779）は外装にもバロック様式が施されている唯一の教会です。宗教芸術美術館には、14世紀の土地の彫刻家であるヴェイガ・ヴァレの作品が収めてあります。その他、サン・フランシスコ・ジ・パウラ（1761）、ノッサ・セニョーラ・ド・カルモ（1786）、ノッサ・セニョーラ・ド・アバジア（1790）、サンタ・バルバラ（1780）などは、この地を代表する教会と言えるでしょう。他の見所として、クアルテル・ド・ヴィンチ（1747）、カーザ・ド・ビスポ、ボア・モルチとカリオカ広場の噴水などがあります。また、ゴイアス最初の建築物のひとつであり、有名なブラジルの詩人、コラ・コラリーナが住んでいた大邸宅は見逃せない



▲街の風景とサンタ・バルバラ教会

Rui Faquini



▲コラ・コラリーナの邸宅

Werner Zots



▲ベキ

Divulgação

建物です。この邸宅でコラ・コラリーナは美しい詩を作り出しました。邸宅には彼女の業績を讃えた小さな博物館もあります。

また、この街の更なる魅力はおいしい郷土料理です。とうもろこしとベキ、そして鶏肉は典型的なゴイアニア料理によく使用されています。ポルトガルから伝わった伝統的なお菓子に、砂糖とキャッサバの粉で作られ、動物の形をかたどったアルフェンスがあります。砂糖がけのフルーツも有名で、お菓子の製造工程を見学できるお店が市内に幾つもあります。

世界最大の湿地平原 パンタナルは野生の宝庫

MAP03



Fundação de Turismo



▲トゥユコ

Divulgação



▲カピバラ

Editora Peixes

世界最大級の熱帯性湿地であるパンタナルはブラジル西部からボリビア、パラグアイに一部またがる総面積23万km²の湿地帯で、ブラジルのマット・グロッソ州とマット・グロッソ・ド・スール州だけでも14万km²に広がっています。湿原の一部、クイアバ川とパラグアイ川との合流点付近の13万5千haがマット・グロッソ・パンタナル自然保護地域として、2000年ユネスコに世界遺産登録されました。

1月から4月の雨季の間、パンタナル地域の80%以上が水没し、地球上で最も水量が多い平原と化します。水位が増すことにより、他に類を見ない多様な生物が存在でき、水草や様々な動物相を確認することができます。パンタナルの地理的条件は、海拔80mから150mに広がる平原地域で、気温は年間平均で25℃ですが、年間の寒暖の差は0℃から40℃までと非常に大きいことが特徴です。パンタナルの植物相は、「パンタナル・コンプレックス」と言及されるほど多様であり、典型的なアマゾン熱帯雨林において植生する樹木のほか、ブラジル北東部の植物、ブラジルにおけるセラード、パラグアイ、アルゼンチンにおけるチャコと呼ばれる地域に生える灌木群も観察することができます。森林は、標高が高いところでは一年中生い茂りますが、草木は、繰り返される洪水によって生育が阻まれ、また乾季の間に水が不足するため、季節ごとに生え変わります。

動物相は、パンタナルのシンボル、トゥユコをはじめとする約650種の鳥類、ドウラドなどの約400種の魚類、カピバラ、ヒョウなどの80種の哺乳類、ワニなどの50種の爬虫類が生息する、まさに野生動物の宝庫となっています。オオアルマジロ、カピバラ、アメリカバク、ジャガーなど、絶滅危惧種に指定される動物も多く存在します。

世界最大の流域 アマゾン河の森林地域



▲リスザル

Amazonastur



▲アマゾン森林

Christian Knepper



▲ジャングルホテル

RIBAMAR O CABOCLO



▲アマゾン川の合流地点

Luiz Braga

アマゾナス州の州都マナウスの北西側一帯に広がる227万haを越えるジャウー国立公園は、アマゾン河支流、ジャウー川流域に位置し、2000年ユネスコの世界遺産に登録されました。その後、2003年に周辺のマミラウア保護区とアマナ保護区が拡大登録され、「中央アマゾン保全地域群」の名称になりました。ジャウー国立公園は、アマゾンにおける熱帯雨林が良好な状態で保存されており、この地域に入るためには、ブラジル政府の許可が必要となっています。

アマゾン河はアンデス山脈に水源を持ち、広大な面積を持つ低地の密林地帯を流れていく世界最大の流域の河です。人間の手が加えられていないこのアマゾン森林では、土地固有の生物が多く生息し、現在でもその正確な数はわかっていません。その多様性は他に比類がなく、毎年新しい種類の生物が発見されています。アマゾン河流域では3千種類の魚類が確認され、ブラジルのみに生息する世界最大の淡水魚であるピラルクのほか、食肉魚やピラニアなどが多数生息しています。また、全世界で登録されている150万種類の植物のうち、10～20％がブラジルにいらとわれています。気温は年間を通じて寒暖の差が無く、平均22～26℃で32℃を超えることはほとんどありません。州都マナウスは人口140万人を超えるブラジル屈指の大都市でアマゾン観光の拠点になっており、数多くのホテルやジャングルロッジなどもあります。

世界遺産の街並と レゲエのメッカ「サン・ルイス」



▲ブンバ・メウ・ボイ祭り

Editora Peixes



▲街の風景

Obrito News

サン・ルイス歴史地区は、18世紀と19世紀に建てられた統一的な建築物で形成されています。基盤状に広がる細い道に沿って作られた、規則正しく並んだ小さな四角形の建物が、この街の特徴です。

ポルトガルの伝統様式は、教会やその他の公共物だけでなく、土地の綿生産業を営む地主たちの屋敷など、民間建築物にも多く用いられました。建設には、当時のヨーロッパ建築の再現を目指すも、風通りを良くするために天井から屋根までの空間を広めたり、ヴェネツィア風の四角いベランダを中庭にむけて設置するなど、土地の気候に合わせて作り替えていく必要がありました。19世紀以降、サン・ルイスでは家屋の外壁をポルトガルのタイルで覆うようになりました。このタイルは光と陽による暑さを反射してくれるだけでなく、外壁を雨、湿気と歳月による劣化から守る役割も果たしました。このことから、サン・ルイスは“タイルの町”としても知られています。州都であるサン・ルイスの町を人で埋め尽くす、マラニョンで最もポピュラーな祭り、ブンバ・メウ・ボイは6月と7月に行われます。18世紀から続くこの伝統行事は、ダンス、音楽、劇、民族芸能が複雑に混ざり合っています。

その他の主な伝統行事として、タンボー・ジ・クリオウロがあります。黒人奴隷の息子であった、聖人のサン・ベネジトを祀る信仰と、人々の楽しみが合わさった祝祭です。サン・ルイスは“ブラジル・レゲエのメッカ”としても有名です。ジャマイカのリズムは70年代に街に入り、その後人々の間で非常にポピュラーな音楽となりました。今ではほぼ毎日、にぎやかなレゲエ・パーティーが町中で開催されています。



▲ポルトガルのタイル

Werner Zots

宗教的セマーナ・サンタの伝統行事と ミナス・バロックの歴史的建築と芸術。



▲サン・フランシスコ・デ・アッシス教会

Markito



▲街並み

D.D.WAVE



▲ノッサ・セニョーラ・ダス・メルセス・エ・ベルドエス教会

Markito

セマーナ・サンタの伝統行事

古都オウロ・プレトは、1980年9月5日、ブラジルで初めてユネスコより世界文化遺産として登録された場所です。18世紀のバロック様式建築が建ち並び、ブラジルの歴史を語る上で非常に重要なこの街は、ミナス・ジェライス州の州都であるペロ・オリゾンチから107km離れたところに位置します。細い道や急な坂に囲まれ、ブラジル・コロニアル時代の宗教的建築物を代表するたくさんの教会や、邸宅、美術館、噴水があります。セマーナ・サンタ（イースター週間）の時期には、観光客でも信仰や文化、アートを楽しめるプログラムが体験できます。復活祭である日曜日には、街はキリストの復活を祝う行列で賑わい、土地の住民によって作られた花やおがくずのクッション、色とりどりのカーベットが素晴らしい芸術作品として街の舗道を飾り、ミナス・ジェライス州の古都を彩ります。

ミナス・バロックの宝物

18世紀から19世紀にかけては、ブラジルでバロック調の芸術が大変栄えた時代でした。カトリッ

ク信仰に由来するポルトガル・バロック調の影響を直に受けたブラジル・バロックですが、時間が経つにつれ、ブラジル独自の特徴が現れてきました。ブラジル・バロックの造形美術家として最も名高いのが、アントニオ・フランシスコ・リスボア、通称アレイジャジーニョです。彼の作品はロココ、クラシック、ゴシック様式といった、異なったバロック・スタイルを融合させているのが特徴で、オウロ・プレットにあるサン・フランシスコ・ジ・アッシス教会とノッサ・セニョーラ・ダス・メルセス・エ・ベルドエス教会で見ることができます。サン・フランシスコ・デ・アッシス教会の天井画の作者であるマノエル・ジ・コスタ・アタイーデ、メストレ・アタイーデの絵画は、アレイジャジーニョの彫刻と建築物に見事にマッチし、ブラジルのコロニアル美術の最も重要な作品のひとつとみなされています。文化と歴史以外に、トレッキングコースや豊富な滝を有するイタコロミ州立公園などで大自然と触れ合うこともできます。

ブラジル・バロックの最高傑作、 ボン・ジェズス・デ・マトジーニョス聖堂



▲ボン・ジェズス・ド・コンゴニャス聖堂

Alexandre Campbell

古都オウロ・プレットにほど近い、コンゴニャスにあるボン・ジェズス・デ・マトジーニョス聖堂の建築物と芸術作品は、1985年12月6日、ユネスコより世界文化遺産として登録されました。世界でも有数の、十二使徒すべての彫刻群を持つこの建築物は、世界におけるバロック様式芸術作品の中でも最高傑作の一つです。不屈の精神を持った天才・アレイジャジーニョは、病と闘いながらも、晩年に素晴らしい作品を残しました。

聖堂を囲む6つの礼拝堂には、十二使徒とキリストの受難の7つのシーンを表現したリアリティ溢れる芸術作品が収められています。アレイジャジーニョは使徒と、キリストが十字架に架けられるまでのシーンの彫刻を依頼されました。表情や細部の完璧さは、作品をよりドラマチックなものに仕上げています。使徒像は正面階段部分に設置され、聖堂に新鮮な命を吹き込んでいます。石鯀石で作られた大きな彫刻作品に飾られた正面玄関は、その小さな空間が劇的な空間へと変化しました。

この聖堂は、今もなお重要な聖地巡礼の中心地です。セマーナ・サンタ（イースター週間）中の記念祭は、200年以上にわたって毎年9月に開催され、多くの信仰者たちがキリストの受難を再現した道のりを迎って訪れます。

万人の鉱山の町ディアマンティーナ



▲ディアマンティーナ市場

Markito



▲裁判所

© UNESCO

ミナス・ジェライス州のディアマンティーナ歴史地区は、1999年、ユネスコより世界文化遺産として登録されました。この町の芸術作品と建築物は、ヨーロッパのスタイルと土地の景観が融合し、オリジナルの文化へと成長した貴重な例として知られています。

ミナス・ジェライスはポルトガル語で「あらゆる鉱山」という意味を持ち、ミナスの町、ディアマンティーナは過去ダイヤモンド発掘の中心地でした。宝石が街に富をもたらしたことにより、街の教会や旧市街の建物のデザインは技術的にも精緻な工夫が凝らされ、仕上げにはポルトガルから輸入された高級

素材などが使われるようになりました。

ディアマンティーナにある建物で最も印象的なのは、歴史的価値のある町市場として知られる、ラバ車のキャンプ場です。1835年にジョアキン・カシミロ・ラジェスによって建設されたこの市場は、街を通る鉱夫と商業人の商品の売買所でした。商人たちは市場の外広場にある木の柱にラバや馬を繋ぎ、荷降ろしをしました。レンガで作られた左横の外壁を除き建物はすべて木製で、側面がアーチ型に開いています。現在、市場は毎週土曜に郷土料理と伝統工芸品のマーケットが開催されています。

豊かな芸術遺産と 素晴らしい大衆文化を持ち合わせた歴史地区



▲ペロウリーニョの街並み

Christian Knepper



▲バーハ灯台 Editora Peixes

MAP09



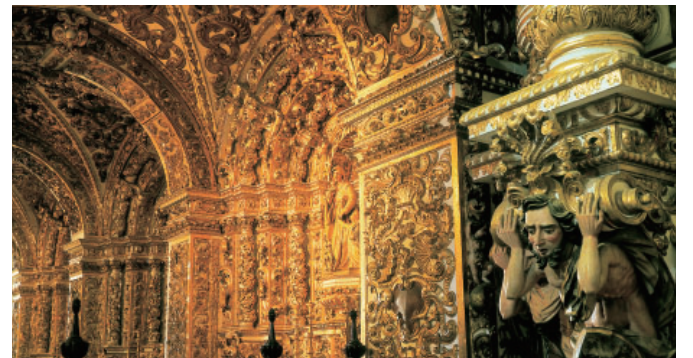
▲サン・フランシスコ教会

Christian Knepper



▲カボエイラ

Christian Knepper



▲サン・フランシスコ教会内

Christian Knepper



▲ペロウリーニョのパーカッション・バンド

Editora Peixes

16世紀から18世紀のポルトガルのタイルや貴金属で飾られた、豪華な邸宅や教会などが多く建ち並ぶサルヴァドール歴史地区は、ユネスコより1985年12月6日、世界遺産として登録されました。バيا州の州都サルヴァドールは、その歴史と混和した文化、諸教混合性、もてなしの心を持つ人々、また趣深い旧市街などで知られています。16世紀に建てられ、17世紀に拡大した街の構造は現在まで保存され、多少の違いはありますが、街が設立された当時の面影を今もなお見ることができます。

ルイス・ディアスによって構想されたサルヴァドールは、当初は他の国の侵略から街を守るための防壁で囲まれ、高台にある要塞のようでした。しかしこの要塞は徐々に海のほうへと広がり、海岸沿いの平野部分にも町を形成しました。このようにして町は、港のあるシダージ・パイシャ（下町）と、行政と宗教の中心地であるシダージ・アルタ（上町）に

分けられました。この2つの町を繋ぐのは難題でしたが、港から商品を運ぶために、急斜面を切り崩してコンセイサオン坂、ミゼリコルディア坂、プレギッサ坂が開かれ、後にケーブルカーやクレーンが作られました。そして1873年に、今では町の観光スポットとなったラセルダ・エレベーターが設立されました。

町の主要観光スポットのペロウリーニョ広場は、ユネスコの世界文化遺産に登録されているバロック様式の建築物が建ち並び、様々な文化活動グループの本部もあり、数々の芸術的なイベントやカーニバルの舞台にもなっています。

ブラジルで最も活気あふれる文化活動の街サルヴァドールでは、民衆によって生み出された伝統的な民族芸能、カボエイラ、アフォシェ、フォリャ・ジ・ヘイス、マクレレ、サンバ・ジ・ホーダなどの民族芸能などを見ることができます。ペロウリーニョ地区では、有名なパーカッション・バンドも集ま

り、サン・フランシスコ祝福祭、カーニバル、サン・ジョアン祭の祭りなど、賑やかなお祭りの舞台となります。中でもカーニバルはサルヴァドールの大衆文化を代表するアトラクションのひとつです。アンブを積んだ山車であるトリオエレットリコが、まるで波のように町中の道にあふれる人々を引きつれて練り歩きます。3つの公式コースがあり、200万人もの人々が25kmに渡り、町の小道や大通りを行列します。カーニバルは夕方から盛り上がり始め、夜を徹して朝まで続きます。

世界最大の 雄大な瀑布と自然の宝庫

MAP10



▲展望台

Christian Knepper



▲イグアスの滝

Christian Knepper

イグアス国立公園は、ブラジルとアルゼンチンの2カ国にまたがって存在します。その象徴的存在が世界三大瀑布のひとつ、イグアスの滝です。「イグアス」とは、先住民グアラニ族の言葉で「大きな水」という意味で、1億2千年前から先住民より聖地として崇められてきました。滝の幅は2.7 kmに及び、水量によって滝の数は150から300にも増え、高さは40mから82mにまで増減します。川の平均流出量は1,500m³/s。この数字は乾季(6～8月)には300m³/sまで減り、雨季(1～2月)にはおよそ20倍の6,500m³/sにまで増加します。特にブラジル側からのイグアスの滝・ハイライト

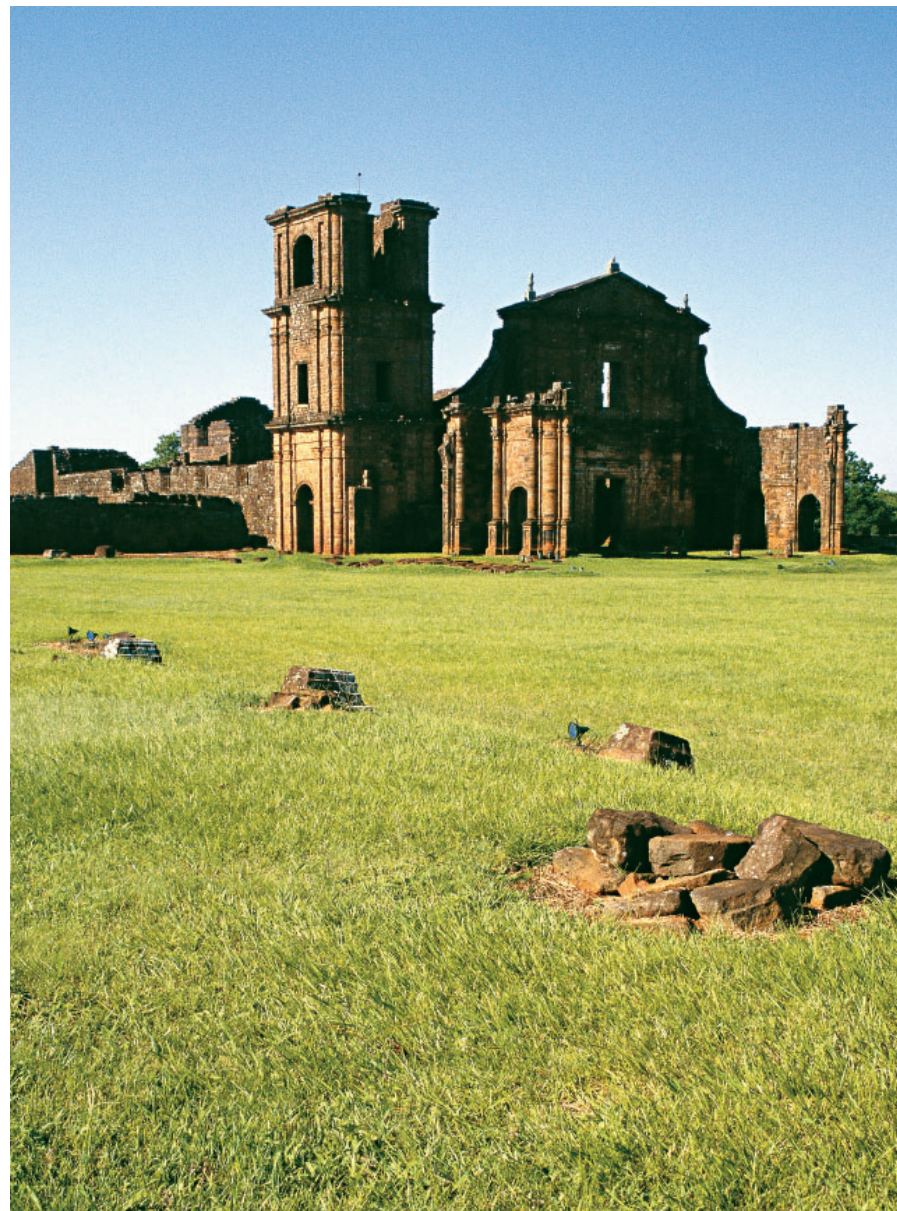
「悪魔の喉笛」は、せり出た展望台から圧感の景色を眺めることができます。ブラジル側は18万haの広さで、アルゼンチン側を含めるとおよそ22万5千haの大きさになります。周辺の亜熱帯のジャングル・イグアス森林には、大西洋岸森林とも呼ばれる独特の植物が生い茂っています。植物の種類は2,000種以上と言われ、鳥類は150種以上、蝶ひとつとっても500種以上が確認されています。カピバラ、カワウソ、オセロット、オオアリクイのほか、ジャガーやピューマなどの絶滅危惧種も存在し、豊富な生物体系を維持しています。



Christian Knepper

4世紀前に タイムスリップした気分になろう

MAP11



▲ヘドゥサオン・デ・サン・ミゲル・アルカンジョ

Werner Zots

ブラジル南部リオ・グランデ・ド・スール州の州都ポルト・アレグレからおよそ500km北西のサン・ミゲル・ダス・ミソオエスに、この遺跡群があります。イエズス会宣教師たちが建設した強化集落の跡地のひとつであるこの遺跡は、1983年にユネスコの文化遺産に登録されました。

ミッサオンあるいはヘドゥサオンと呼ばれた居住地区のうち、合計7つのイエズス会伝道所が集まったセッチ・ボーヴォス・ダス・ミッソエスは、過去にその建物のほとんどが破壊されました。かろうじて残ったヘドゥサオン・デ・サン・ミゲル・アルカンジョの遺跡は、ブラジル考古学において非常に重要な痕跡が残されていることから、サン・ミゲル・ダス・ミソオエス遺跡群として世界遺産に登録されました。近辺には、7つのうちサン・ロレンソ・マルティール、サン・ジョアン・バチスタとサン・ニコラウの3つの遺跡があります。

遺跡の中で最も重要な建築物は、サン・ミゲル・アルカンジョ教会です。イタリア人イエズス会神父のジェアン・パティスタ・プリモリによって計画され、アレナイ石を用いたこの教会は1735年に建設が始まり、完成までに10年の歳月を要しました。1940年に建築家ルシオ・コスタによって建てられたミッソエス博物館には、イエズス会宣教師とインディオ達が作った約100体に及ぶ色とりどりの聖者の彫刻があり、ブラジル随一のコレクションを誇ります。



Werner Zots

カラフルに彩られた家並みが続く オリндаの街



▲オリнда歴史地区の街並み

Christian Knepper



▲色とりどりの家屋

Christian Knepper



▲ノッサ・セニョーラ・ダス・ネーヴェス

Christian Knepper

オリнда歴史地区には、主に16世紀から18世紀に流行した建築スタイルが融合した美しい教会や美術館など、この地特有のトロピカルな自然にマッチした建築物が立ち並びます。丘の上に位置し、大西洋を見事に見渡すことができるこの町は、18世紀に起きたブラジル史に残る熾烈な争い、マスカート戦争が繰り広げられた舞台となりました。このことからオリнда歴史地区は、1980年に国を代表する建造物として指定され、1982年にはユネスコより世界遺産として登録されました。

小さな道と坂で形成されるオリнда歴史地区の散策は、訪れる人々にとって忘れたくない経験となるでしょう。熱帯植物の力強い緑と、海の青色を背

景に、ポルトガル・コロニアル・スタイルの色彩やかな家屋や荘厳な教会が立ち並び、オリндаの街を強く印象づけます。曲がいくねった土地であるオリндаの街は、中世ポルトガル村落にも見られる不規則な形をしています。

また、民間の質素な家屋にも、石や木でできたバルコニーの設置や隣接した外壁、大きな中庭などといった、ポルトガル建築の影響が見てとれます。オリндаはブラジル植民地時代に起こった土地争奪戦の歴史舞台でもあり、町の景色を飾る数々の建物は、1631年にオランダ軍が町に侵略した際にほとんど破壊されました。その後、再建されましたがオリジナルのスタイルを保つことはできませ

んでした。現存する建物として、サン・フランシスコ修道院とノッサ・セニョーラ・ダス・ネーヴェス教会は一見の価値があります。



MAP12

世界的に有名なダイビング・スポット フェルナンド・デ・ノローニャ諸島とロカス環礁の保護区群



MAP13



▲フェルナンド・デ・ノローニャ諸島

Pedro Paulo Capelossi



▲サメ

Pedro Paulo Capelossi

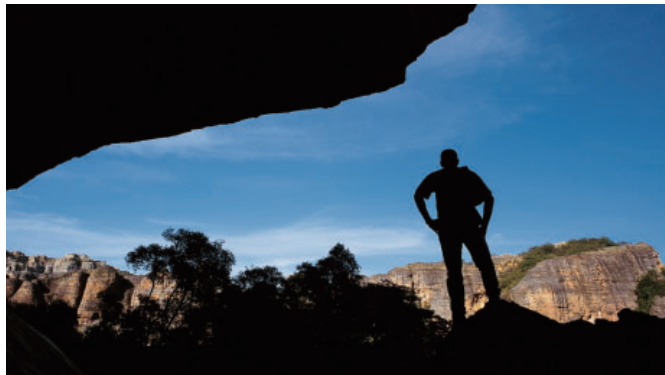
ペルナンブッコ州に属する大西洋上の島々、主島フェルナンド・デ・ノローニャ島と海域は、「フェルナンド・デ・ノローニャ国立海洋公園」として国立公園に指定されています。また、同じ大西洋上に浮かぶロカス環礁は、リオ・グランデ・ド・ノルテ州に属した長さ3.7km、幅2.5kmの珊瑚礁と紅藻で構成されている楕円形の環礁地域で、ロカス環礁海洋生物保護区として認定されました。この2つの地域は、ひときわ自然美にすぐれ、美的重要性を持つすばらしい自然現象や地域を有します。また、陸上、淡水、沿岸で海洋生態系と動植

物群集の進化と発達を目にすることができ、生態学的、生物学的にも重要なプロセスを示す顕著な見本となっており、生物多様性の保全という点で、重要かつ意義深い自然生息地を含んでいます。これらは科学上、または保全上の観点から、“すぐれて普遍的価値を持つ絶滅危惧種の生息地などが含まれる地域”という世界遺産登録基準を満たしたとみなされ、「ブラジルの大西洋諸島:フェルナンド・デ・ノローニャとロカス環礁保護区群」として、2001年にユネスコの世界遺産に登録されました。

岩壁画:歴史散策



MAP14



▲カピバラ山地国立公園

Editora Peixes



Editora Peixes

カピバラ山地国立公園は2億4千万年前に形成された岩壁に、先史時代の約1万2千年にわたって刻まれた日常生活、踊り、儀式、祭式などをモチーフにした壁画があり、人類の壮大な歴史を顧みることができます。太古の動物の化石のほか、発掘された道具や陶磁器具の破片を通年見ることができます。これらはアメリカ大陸に5万年以上前から人類が存在したことを裏付けています。

ブラジル北西部にあるピアウイー州の南西部に位置するこの公園は、13万haの面積を有し、400以上の見学可能な遺跡群があります。最も有名なのが、直径15m、高さ60m以上もの大きさをもつペドラ・フラダ洞窟です。観光

客への見学設備が万全に整備され、IBAMA（ブラジル環境・再生可能天然資源協会）の協力を得て、アメリカ人類博物館基金が管理する案内散策路や専門ガイドなどが用意されています。遺跡のよりよい保護を目的に作られたこの公園は、1991年ユネスコにより世界文化遺産として登録されました。世界で最も貴重な考古学遺跡のひとつであるこの公園を守るため、観光客の見学時には専門ガイドが義務付けられ、夜を過ごす際の許可申請が必要など、公園の保護に関する規則が制定されました。



地球最古の平原と 乾ききった不思議な生態系の平原



▲エマス国立公園

Editora Peixes

2001年、ゴイアス州にある2つの異なる自然地域、ヴェアデイロス平原国立公園とエマス国立公園をあわせて、「セラード保護地域群：ヴェアデイロス平原国立公園とエマス国立公園」として世界自然遺産に登録されました。

ヴェアデイロス平原国立公園

ヴェアデイロス平原国立公園は、最古の岩石形成地帯のひとつであり、ゴイアス州内のおよそ6万5千haの広さを有します。水晶を含むため、セラードの土壌は肥沃で、牧草地としても最適な場所となっています。国立公園内では、25種類以上の固有種の果樹をもつ森林が形成され、タテガミオオカミ、カピバラ、オオアリクイのように絶滅の危機に瀕する動物も多く棲息しています。



▲ヴェアデイロス平原国立公園

Divulgação

エマス国立公園

エマス国立公園は、ゴイアス州、マツ・グロッソ・ド・スール州にまたがる13万ha以上の広大な国立公園です。4、5ヶ月の間は雨が降らないため、灌木の多いサバンナが広がります。乾いた大草原には、世界でも類を見ない不思議な生態系が見られます。大草原でまず目につく奇妙な風景は、無数に立ち並ぶ巨大な土の塊です。シロアリが作ったアリ塚で、その数は数千万にも及ぶと言われています。

その他に、シカ、オオアリクイ、レアやおよそ250種類の鳥類なども観察が出来ます。



6生態系保護拠点と11州立公園と 国立公園を含む広域保護区群



▲メウ島(パラナ州)

Joel Rocha

大西洋岸森林南東部の保護区群は、パラナ州からサン・パウロ州にかけて169万haに広がり、すぐれた自然美にあふれ、また、陸上、淡水、沿岸、海洋の生態系と動植物群集の生態学、生物学の進化発展のプロセスを示す顕著な見本地域とされています。多様な生物の保全にとって、重要な自然生息地であり、絶滅危惧種の生息地なども含まれていることから、1999年にユネ

スコの世界自然遺産に認定されました。哺乳類の数は約120種類、木の種類はアマゾン森林を超える数を有し、30mを超える高さの木もあります。



コスタ・ド・デスコブリメントの大西洋岸森林保護区群



▲ディスカヴァリー・コースト

© UNESCO

大西洋岸のバイーア州南部からエスピリト・サント州北部にかけて存在する8つの自然保護区を対象とした世界自然遺産として1999年に登録されました。モンテ・バスコアル国立公園、パウ・ブラジル国立公園、デスコブリメント国立公園、ウナ生物保護区、ソーレタナ生物保護区と他に3の保護区が含まれ、面積は11万1千ha以上になります。

1500年4月22日にポルトガルの第2回インド遠征隊のペドロ・アルヴァレス・カブラルが初めてブラジル海岸（現ポルト・セグロ市）に着き、ブラジルの歴史が一步踏み出されたのが、この地域であることから、この名がつけられました。ディスカヴァリー・コーストは世界でも生物の多様な地域と知られ、木の種類は1haあたりに460種類あることが確認されています。その中ではブラジルの国名の由来でもあり、絶滅危惧種にも指定されているパウ・ブラジル（パウ＝木材）など、多様な熱帯林の棲息を見ることができます。



▲ディスカヴァリー・コースト

© UNESCO